

科目区分・分類	専門・実習	対象学科名・学年	環境都市4年	科目コード	49511491
科目名	実務訓練 Internship				
担当教員	浅野 憲哉, 遠藤 典男				
単位数(時間数)	必選 通年 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(G-2)		
授業の目的と概要	企業・官庁などにおける学外実習を通じて、専門分野に関連した業務を積極的に行い、その中より実践的な技術感覚を体得するとともに、技術者として必要な適応力を養う。また企業・機関などでの実習体験から、今後の学生生活での学習意欲の向上と、進路決定の一助とする。				
先修科目					
後修科目					
備考	実習先は、原則として帰省先から通勤可能な範囲とする。7月に各自保険に加入するが、期間により費用は異なる。				
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	履修の説明	2	インターンシップの意味を理解する。		
2	インターンシップ事業1 説明会	2	実習受け入れ企業・機関の方に、実習する上で必要なご説明していただき、実習テーマと受け入れ機関の選択に対する研究を行う。		
3	インターンシップ事業2 研修会	4	実習の前に実務訓練への心構え、事前打ち合わせについて学び、受け入れ企業・機関の方と打ち合わせを行うことができる。		
4	インターンシップ事業3 実務訓練	40	7月下旬～8月下旬に5日以上の実習を行う。実践的な技術感覚を養い、積極的に実習を行うことができる。		
5	インターンシップ事業4 報告会	4	実習の内容や実習で得られたこと、後輩へのアドバイスを中心とした、報告書を作製することができる。また、報告書の内容を解り易く説明することができる。		
6	学科内での報告会	2			
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	実務訓練を通じて専門分野に関連した実践的な業務に携わり、業務の概要を説明できることで(G-2)の達成とする。				

成績評価	実務訓練先からの実習証明書（60％）、提出された報告書（40％）の合計100点満点で（G-2）を評価し、各項目で6割以上獲得した者をこの科目の合格者とする。不合格者の成績は、合計が60点以上の場合は59点とする。
教材	参考書：実務訓練の手引
オフィスアワー	水曜日15:00～17:00，環境都市工学科，担当教員室。